



TOTO

電気温水器 湯ぽっと RE01シリーズ RE01型・RE01G型・RE01A型・RE01C型

1 安全上の注意

安全のために必ずお守りください

取付工事の前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。この施工説明書では、製品を正しく取り付けていただき、使用者への危害や財産への損害および工事者への危険を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示は、つぎのようになっています。

表示	意味
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。







下記に示す内容は、施工説明書や製品に表示して、工事業者の方に安全に正しく製品を取り付けていただくものです。内容をよく理解して正しく取り付けてください。




絵表示	意味	絵表示	意味	絵表示	意味
	一般的な禁止		必ず実行		アースを接続せよ

取付工事完了後、施工説明書に記載の「試運転」にしたがって各部の点検を行い、器具のがたつきや漏電・水漏れなど安全上の不具合がないことを確かめてください。

製品に同梱されている「取扱説明書（保証書付）」は、使用者に製品を正しく安全に使用していただくための重要な書類です。紛失したり汚れたりしないように大切に保管し、工事完了後、使用者または建築工事責任者にお渡しください。

なお、保証書には必要事項を必ずご記入ください。

 警告	
 分解禁止	修理技術者以外の人は、この説明書に記載された項目以外は絶対に分解・修理・改造は行わない (感電や故障の原因になります。)
 一般的な禁止	指定する電源以外では使用しない(ヒーターの断線・火災などの原因になります。)
	電源コードの加工(切断・継ぎ足し)を行わない(感電・火災の原因になります。)
 風呂シャワーなど水場での使用禁止	屋内用のため、屋外には設置しない(感電や故障の原因になります。)
	コードを乱暴に扱ったり、ガタついているコンセントに差し込まない(火災の原因になります。)
 必ずアース線を接続せよ	電気工事は、関連する法令、法規にしたがって必ず「有資格者(電気工事士)」が行い、アース(D種接地工事100Ω以下)工事を行う また、漏電遮断器を取り付ける (誤った工事を行うと故障や漏電の時に感電するおそれがあります。)
 必ず実行	給水口に接続する前に必ず、配管内のゴミなどを取り除くため止水栓を開けバケツ2杯(約20L)程度の水を捨てる(通水前の配管には砂やシールテープなどのゴミが混入しているケースが多く、内蔵していますフィルターだけでは完全にゴミが取りきれません。このゴミなどが機器内に入ると故障の原因になります。)

 注意	
 一般的な禁止	タンクが空のときは、絶対に電源スイッチを入れない (空焚きとなり故障・事故の原因になります。)
	水道水以外は、通水しない (井戸水などを通水すると腐食などにより水漏れするおそれがあります。)
	製品に強い力や衝撃を与えない(故障や水漏れの原因になります。)
	専用水栓の吐水口にホースや浄水器などの抵抗となるものを接続しない (機器の破損や水漏れの原因になります。)
 必ず実行	先止め式水栓金具は使用しない (水圧によりタンクが破損し、水漏れするおそれがあります。)
	RE01A型、RE01C型は寒冷地対応品ではないため、凍結のおそれのある場所では使用しない(凍結破損し水漏れするおそれがあります。)
	RE01型、RE01G型は凍結のおそれのある場合は、必ず凍結予防処置を行う また、必ず水抜きがスムーズにできる勾配で配管する (凍結破損し水漏れするおそれがあります。)
	水抜きを行うときは、必ず電源スイッチを「切」にする (空焚きとなり、故障・やけどの原因になります。)
	フィルター付き止水栓の掃除をする際は、いきなりフィルターふたを緩めず、止水栓を閉めてから行う (水が噴き出して、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。)
	設置する際は必ず天面を上にして水平に取り付ける (天面を上にした場合高温のお湯が出湯されやけどのおそれがあります。)
	専用水栓を必ず使用する(水漏れの原因になります。)

おねがい

必ずフィルター付き止水栓を取り付けてください。

給水圧力は0.05~0.75MPaです。この圧力の範囲内でご使用ください。

給水管にはフレキシブル管をご使用ください。

(銅管などで接続されると、機器のフィルターの清掃が困難になります。)

取扱説明書内の保証書に、お買上げ店または工事店名およびお取付日を必ず記入してください。

空焚き、施工上の責任は当社では負いかねますので、万一施工上に起因する不都合が生じた場合は、貴店の保証規定によって修理していただくようお願いいたします。

コンセントは、接地用端子の付いた接地極付コンセントを取り付けてください。

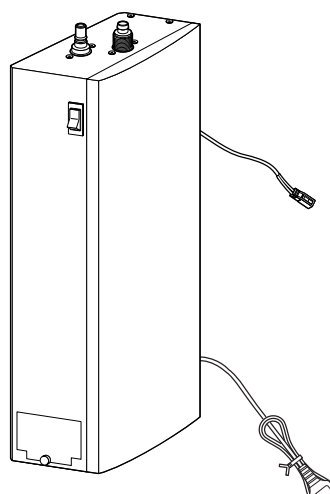


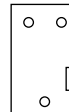


必ず電気温水器専用のコンセントを設置してください。

ウォシュレットなどとコンセントを兼用する場合は電流容量の十分なコンセントをご使用ください。

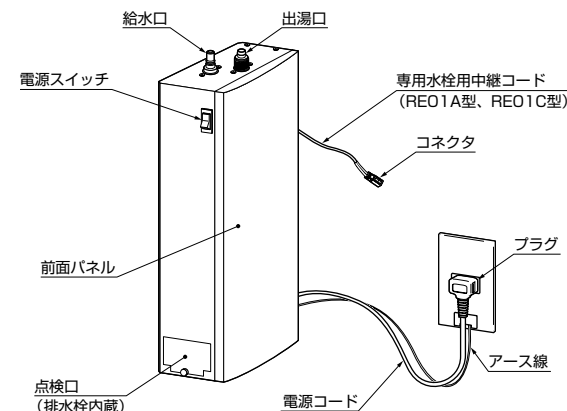
コンセントの電流容量が不足することがあります。

2 部品の確認

まず、次の部品があることを確認してください。

<p>①電気温水器本体</p> 	<p>②排水ホース、取扱説明書（保証書付）、施工説明書</p>  <p>L=200</p> <p>お客様にお渡しください</p>
<p>※機種により形状が異なります。</p>	<p>③固定金具類</p> <p>固定アングル (RE01型、RE01A型、RE01C型)</p>  <p>型紙</p>  <p>固定アングル用 取付ねじ(φ4×20)×2 (RE01型、RE01A型、RE01C型)</p>  <p>本体取付ねじ (φ4×50)×3</p> 

3 各部の名称

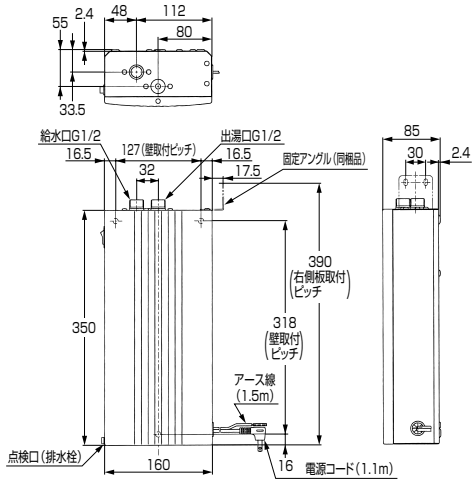


4 仕様

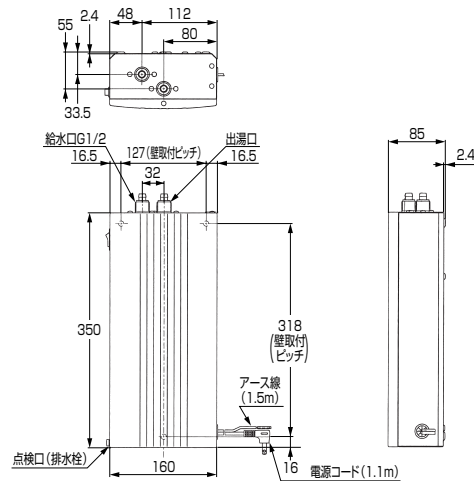
機種		RE01型	RE01G型	RE01A型	RE01C型
定格	電圧	AC100V			
	周波数	50/60Hz			
	消費電力	505W		505W (ヒーターOFF時: 待機中0.4W : 作動時0.6W)	
電源コード長さ		長さ: 1.1m			
貯湯量		約1L			
沸き上がり温度		約38℃ (保温時約28~38℃)			
沸き上がり時間		約5分 (水温15℃→38℃)			
出湯流量		毎分約4L	毎分約3L	毎分約3Lまたは約4L (対応する手洗器による)	毎分約4L
給水方式		元止め式			
使用水圧		0.05~0.75MPa			
使用可能雰囲気温度		0~40℃			
製品寸法		幅160mm×奥行85mm×高さ350mm			
満水質量		3.3kg			3.8kg
主要部品	ヒーター	シーズヒーター			
	温度調節器	バイメタル			
安全装置	温度過昇防止器	手動復帰式バイメタル			
	アース線	1.5m			

5 寸 法 図

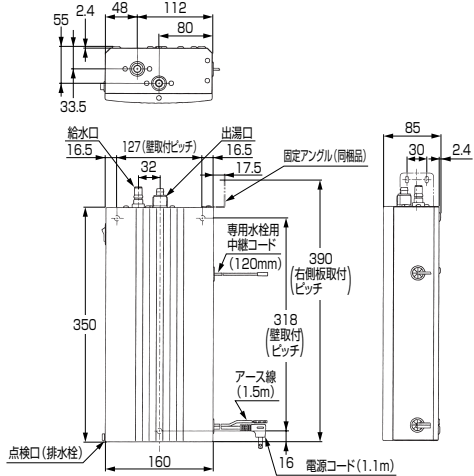
RE01型



RE01G型



RE01A型・RE01C型



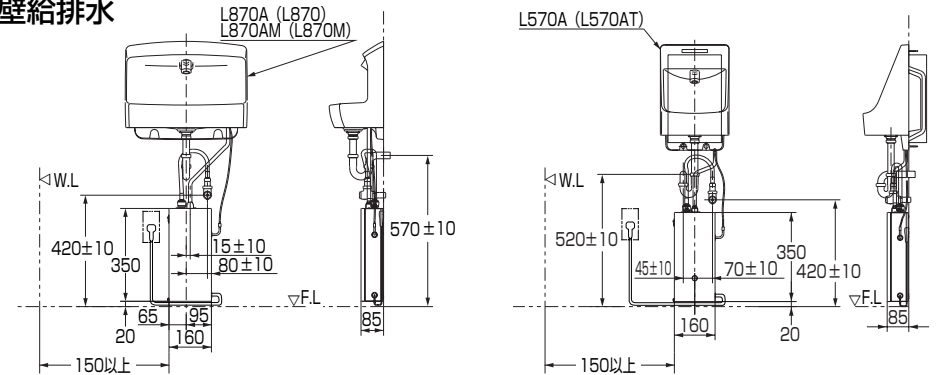
※RE01AT1型は、給水口形状が異なります。

6 標準施工図

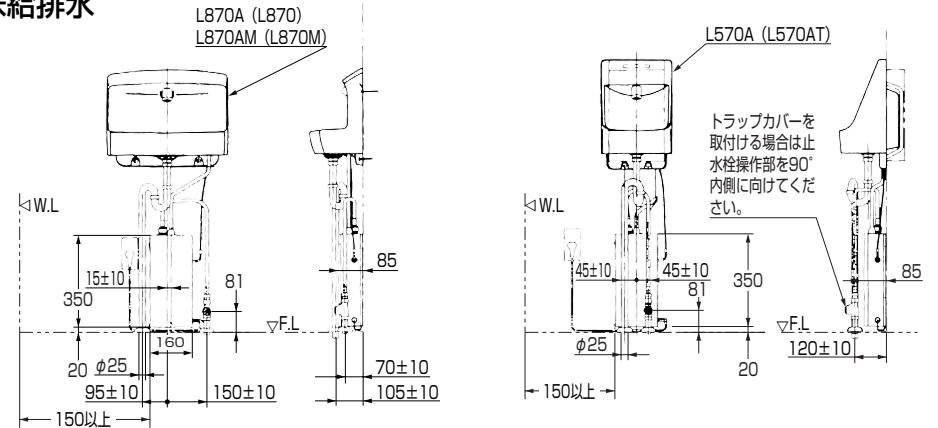
〈コンパクト手洗器設置の場合〉

RE01A型、RE01C型 ※トラップカバーの取り付けをされる場合は、トラップカバーの施工説明書と合わせてご覧ください。

壁給排水



床給排水



※図は、RE01A型を示す。() 内品番はRE01C型用

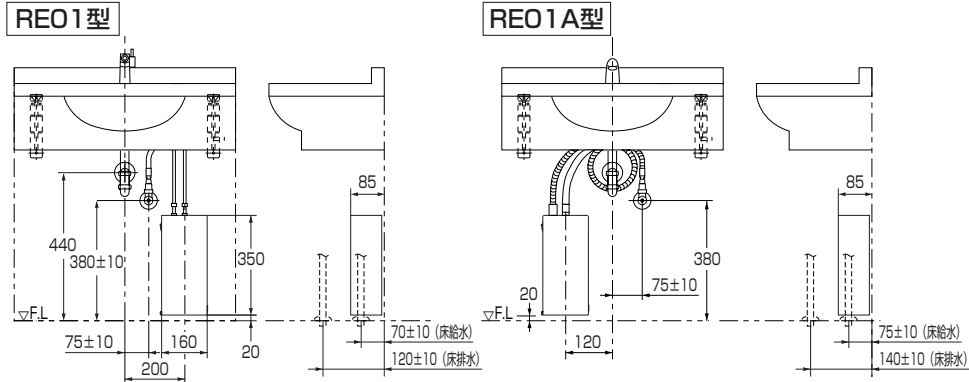
注意

本体をF.Lから20mm離して取り付けてください。

水抜きのために本体左側面と壁との間を150mm以上あけてください。

床給水、床排水の際、トラップカバーを取り付ける場合はフランジを取り付けないでください。

＜カウンター式手洗器設置の場合＞



注意 本体をF.Lから20mm離して取り付けてください。

＜レストルームドレッサースリムタイプⅢ設置の場合＞

※レストルームドレッサースリムタイプⅢの施工説明書と合わせてご覧ください。

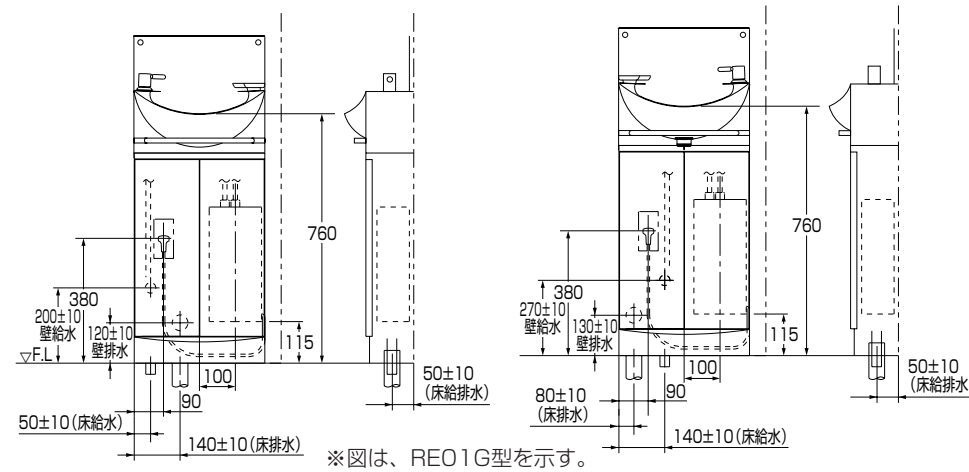
REO1A型

REO1G型

注意 レストルームドレッサースリムタイプⅢに設置する場合は、別梱包のスペーサーを使用してください。詳しくはスペーサーに同梱のちらしをご覧ください。

右勝手

左勝手



※図は、REO1G型を示す。

注意 REO1型、REO1G型、REO1A型、REO1C型は縦設置型です。横向きには設置しないでください。

＜レストルームドレッサースリムタイプG、レストルームドレッサーGT設置の場合＞

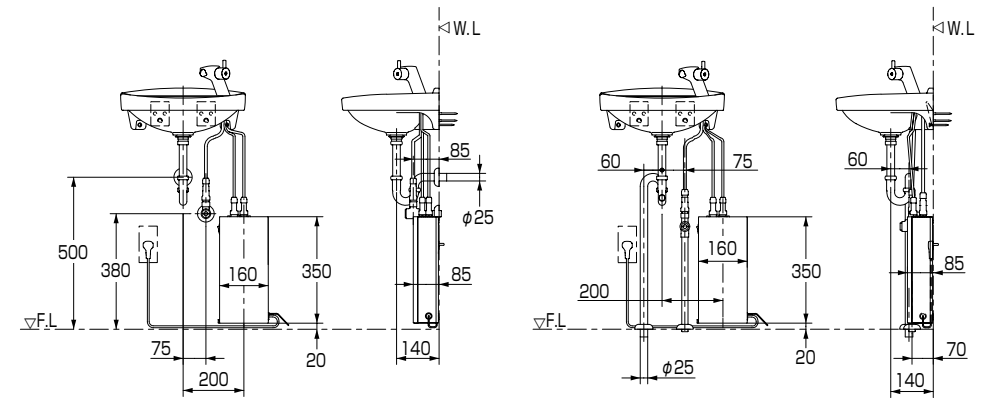
※レストルームドレッサーの施工説明書を参照ください。

＜壁掛手洗器設置の場合＞

REO1型

壁給排水

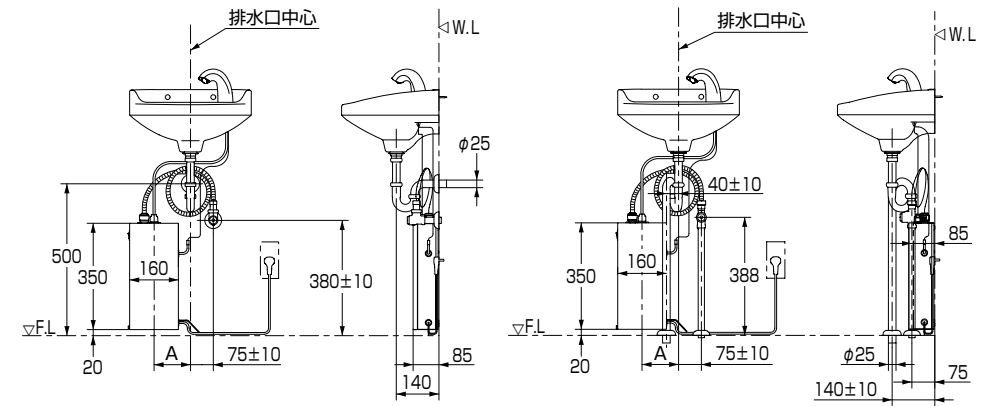
床給排水



REO1A型

壁給排水

床給排水



対象陶器	品番	A寸法
	L5D・B	120
	L10D	-20
	L30D・DM	120
	L650D	120

対象陶器	品番	A寸法
	L5D・B	120
	L10D	-20
	L30D・DM	120
	L650D	120

注意 本体をF.Lから20mm離して取り付けてください。

7 取付手順

1. 本体の設置

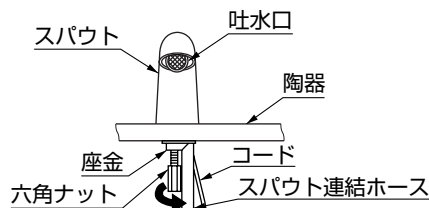
注意

本体取付位置は、標準施工図を遵守ください。
コンパクト手洗器のトラップカバーを取り付ける場合は、電気温水器を取り付ける前にトラップカバーの施工説明書にしたがってトラップカバーの固定金具を先に取り付けてください。
電気温水器に幅木が当たる場合は幅木をカットしてください。
取付面がタイル・コンクリート壁の場合は市販のカールプラグをご使用ください。

※壁掛・カウンター式手洗器用自動水栓の場合

電気温水器本体設置前に、スパウトを仮り締めしてください。

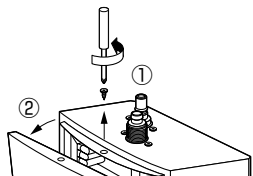
- ①スパウトを陶器に差し込んでください。
- ②吐水口を排水方向に向け座金を六角ナットで仮り締めしてください。



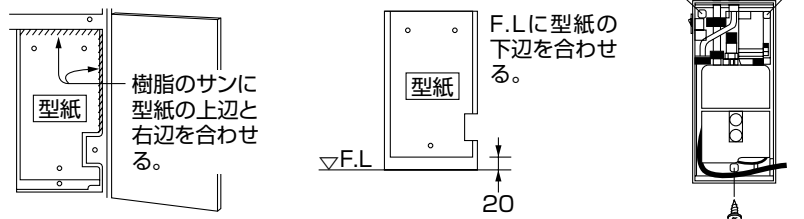
注意

スパウト連結ホースとコード類がかみ込まないようにしてください。
センサー面を傷つけないよう十分注意してください。
インバータや赤外線を用いた他の機器により誤作動することがあります。

- (1) 前面パネルを取り外してください。
- (2) 同梱の型紙でねじの固定箇所3箇所マーキングした後、下穴を開け壁面に同梱のねじ3本(φ4×50)で固定してください。



〈レストルームドレッサースリムタイプⅢ〉 〈レストルームドレッサースリムタイプⅢ以外〉

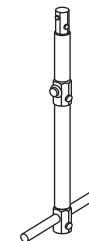


〈壁掛・カウンター式手洗器用自動水栓の場合〉

電気温水器本体設置後、六角ナットを締め付け、スパウトを陶器に固定してください。

※六角ナットの締め付けとして、別売で専用工具 (TZ40L) を準備しておりますが、下記の一般工具でも取付可能です。

- ・ソケットレンチ (対辺13mm)
- ・T型レンチ (対辺13mm)
- ・ナットスピナーハンドル (対辺13mm)



締め専用工具
(別売品: TZ40L)

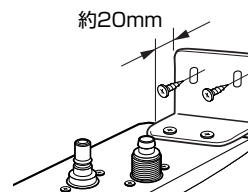
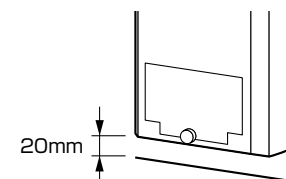
注1: 本体の水ぬれ防止、本体の排水を容易にするためF.L.から本体底面を20mm上げて取り付けください。

本体を上げすぎると上部の配管の取り回しができなくなるおそれがあるため20mm以上上げないでください。

注2: RE01型, RE01A型, RE01C型をフロアキャビネット(※)など、取付面が薄い板に取り付けの場合は、補助として同梱の固定アングルにて右側板にねじ(φ4×20)止めしてください。

その際、前面パネルの着脱のため本体底面は底板から10mm程度上げて固定してください。

固定アングルの本体への固定は本体に取り付けてあるねじを使用してください。



2. 配管類接続

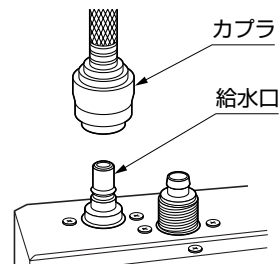
注意

取り付ける前に、必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。(ごみなどが機器本体内に入ると故障の原因となります)

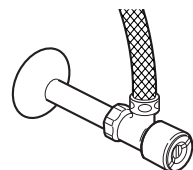
〈RE01A, RE01C〉

- (1) 給水ホースのワンタッチソケットを電気温水器の給水口にまっすぐに、給水口に「カチッ」と音がするまで入れて接続してください。

注1：スリーブが移動してグリーンのスTOPパーが見えることを確認してください。

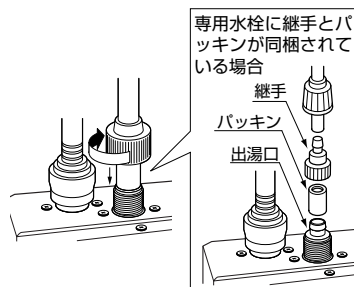


- (2) ワンタッチソケットの反対側を止水栓に接続してください。



- (3) 出湯口に出湯ホースを差し込んだ後、袋ナットを**手で締め付けてください。**ホースが長い場合は、適当な長さに切断してください。

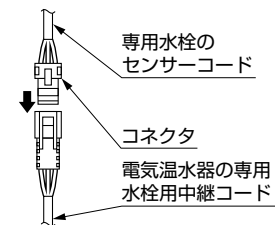
注1：切断にはカッターなどを用い、切断面が垂直になるようにしてください。



- (4) 専用止水栓のセンサーコードのコネクタ（おす）と電気温水器専用止水栓用中継コードのコネクタ（めす）を接続します。

注1：コネクタの接続は、ロックが確実にかかるまで、差し込んでください。

注2：電気温水器への水侵入防止のためセンサーコードはたるみを持たせてください。

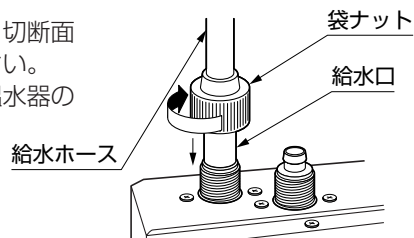


〈RE01G〉

- (1) 給水口に給水ホースを差し込んだ後、袋ナットを**手で締め付けてください。**ホースが長い場合は適当な長さに切断してください。

注1：切断にはカッターなどを用い、切断面が垂直になるようにしてください。

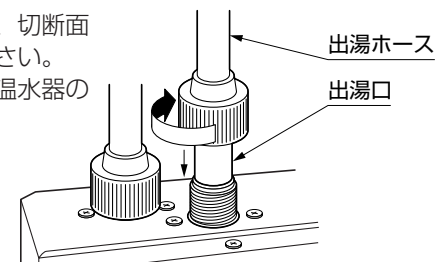
注2：給水ホースのラベルと、電気温水器のラベルを確認してください。



- (2) 出湯口に出湯ホースを差し込んだ後、袋ナットを**手で締め付けてください。**ホースが長い場合は適当な長さに切断してください。

注1：切断にはカッターなどを用い、切断面が垂直になるようにしてください。

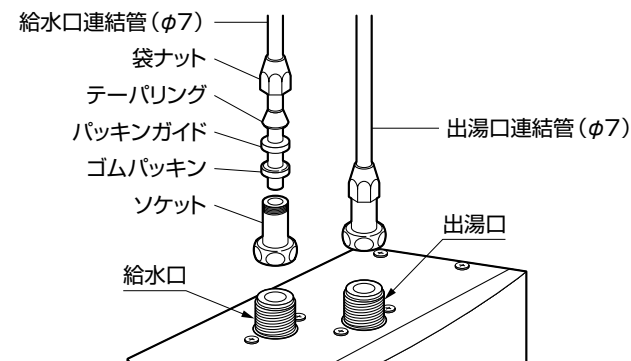
注2：出湯ホースのラベルと、電気温水器のラベルを確認してください。



〈RE01〉

- (1) 給水口連結管、出湯口連結管（φ7…600mm）に図のように部品を入れ、ソケットに差し込んだ後、給水口、出湯口にねじ込み固定してください。

注：連結管のラベルと電気温水器のラベルを確認してください。



8 電気工事



電気工事は、関連する法令、法規にしたがって必ず「有資格者（電気工事士）」が、アース（D種接地工事100Ω以下）工事を行う
また、漏電遮断器を取り付ける
（誤った工事を行うと故障や漏電の時に感電するおそれがあります）

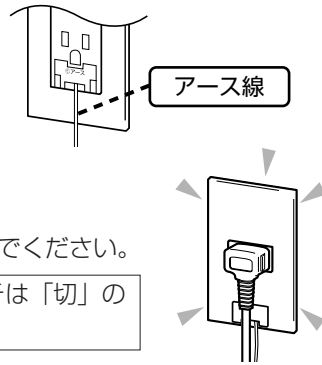
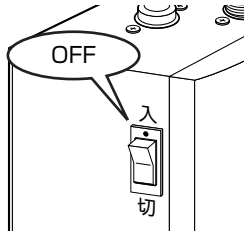
消費電力、電源を銘板で確認し、必ずこれに適した配線を行う
（火災の原因になります）

9 試 運 転



タンクが空のときは絶対に電源スイッチを入れない
(空焚きとなり故障、事故の原因になります)

- (1) 電源スイッチが「切」になっていることを確認してください。
- (2) 電気温水器のアース線をコンセントのアース端子に接続してください。



- (3) 電源プラグをコンセントの根元まで確実に差し込んでください。

【注】タンクへの給水が完了するまで電源スイッチは「切」のままにしておいてください。

注意

〈自動水栓の場合〉
電源が入ると直ちに感知距離を設定しますので、センサーに手をかざしたり、陶器内に物を置いたりしないでください。
(約20秒でこの動作は完了します)

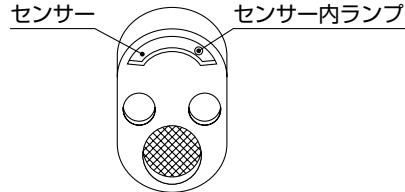
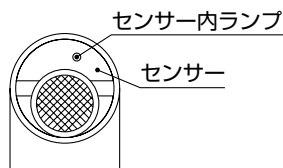
- (4) 〈自動水栓の場合〉

センサーに手をかざしたり、陶器内に物を置いたりしない状態でスパウト先端のセンサー内ランプが点滅していないことを確認してください。

※電源を入れて約10分後にランプの点滅は自動的に消えます。再度確認を行う場合はセンサーコネクタを一度抜き、差し込みなおしてください。

壁掛・カウンター式手洗器

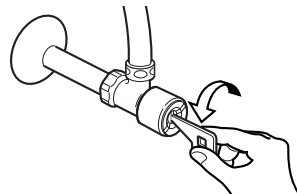
コンパクト手洗器



- (5) 止水栓を開けてください。

注意

給水管に塩ビ管を使用している場合は、接着剤が完全に乾いてから通水してください。
(水から臭いがするおそれがあります)

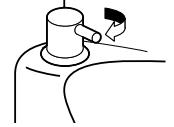
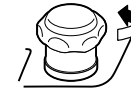
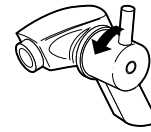


- (6) 〈手動水栓の場合〉
水栓ハンドルを全開にしてください。

壁掛・カウンター式手洗器

コンパクト手洗器

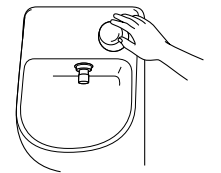
レストルームドレッサーSlimタイプⅡ



〈タッチスイッチ水栓の場合〉
タッチスイッチを押すと水が出ます。

【注】電源投入後、最初の3回はスイッチを押すと約5分間水が出ます。
もう一度スイッチを押すと水が止まります。

コンパクト手洗器

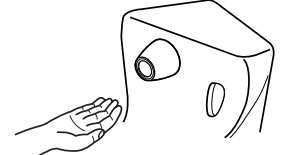


〈自動水栓の場合〉
吐水口に手を近づけてセンサーを動作させてください。

壁掛・カウンター式手洗器

コンパクト手洗器

レストルームドレッサーSlimタイプⅢ

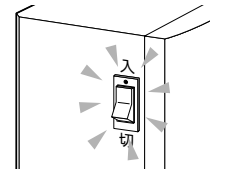


- (7) 吐水口から水が出はじめるとタンクが満水です。



【注】満水になるまでは約20秒かかります。

- (8) 配管接続部に水漏れがないか確認してください。
- (9) 電源スイッチを「入」にし、ランプが点灯することを確認してください。



空焚禁止 (タンクが満水になる前に電源スイッチを「入」にしないでください)

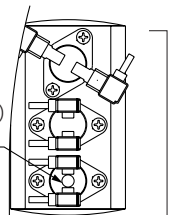
- (10) タンク内の水温が約38℃になると、自動温度調節器が作動し、電源スイッチのランプが消灯します。

【注】沸き上がるまで約5分かかります。

※万一空焚きした場合は、以下の手順で電気温水器内の温度過昇防止器のリセットボタンを押せば復帰します。

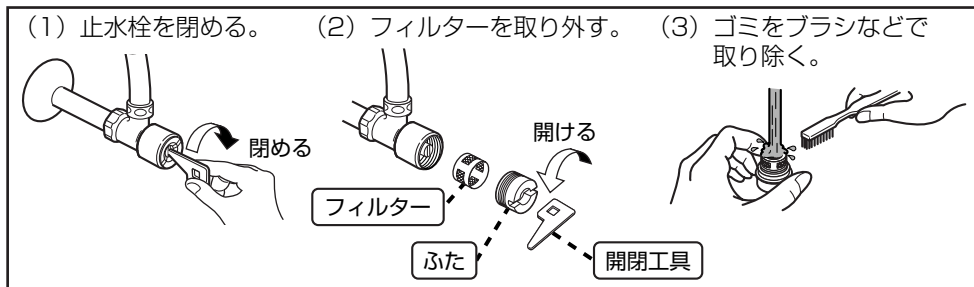
- (1) 電源スイッチを「切」にする。
- (2) タンクに水を入れてタンクの温度を下げる。
- (3) 電源プラグを引き抜く。
- (4) 前面パネルを取り出し、右図のリセットボタンを押す。

リセットボタン(白色)
(ここを押す)



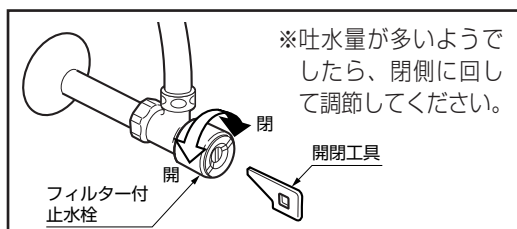
10 フィルターの掃除

止水栓のフィルターが詰まると吐水量が少なくなり、十分な機能が発揮されなくなります。器具取付後は、必ずフィルターを掃除してください。また、お客様にもときどき掃除していただくようにご説明願います。



11 吐水量の調節

定流量弁を内蔵しており基本的に調節は不要です。ただし、水の勢が強すぎて衣服などをぬらすおそれのある場合は、付属の開閉工具でフィルター付止水栓を回して、吐水量を調整してください。



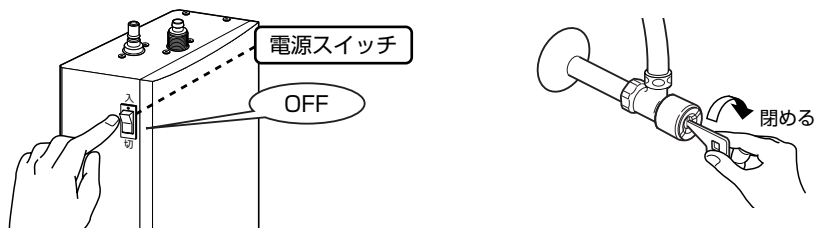
12 水抜き方法

試運転後、引き渡しまで長期間使用しない場合は、次の要領で機器内の水を抜いてください。

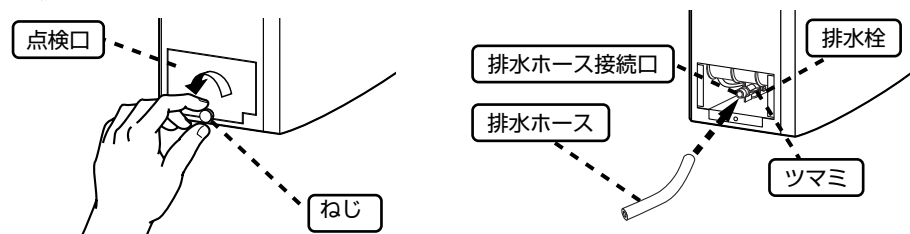


必ず電源スイッチを「切」にして電源プラグを抜いてください。
(空焚きとなり故障、事故の原因となります)

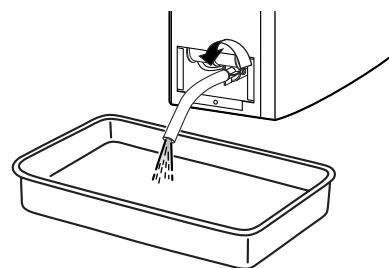
- (1) 電源スイッチを「切」にしてください。 (2) 止水栓を閉めてください。



- (3) 電気温水器の点検口のネジを左に回し、点検口を外してください。 (4) 排水栓に排水ホースを接続してください。



- (5) 排水栓のツマミを回してタンク内の水を抜いてください。



水抜き後は電気温水器の排水栓を閉じてください。

注意

RE01A型、RE01C型は、寒冷地対応品ではありません。凍結のおそれのある場所では使用しないでください。
RE01型、RE01G型は凍結のおそれがある場合は、必ず凍結予防処置を行ってください。(凍結破損し水漏れするおそれがあります)

13 工事店様へ

1. 施工が終わったら必ず各接続部から水漏れの無いことを確認してください。
2. しばらく使用しない場合は、電源スイッチを切り電源プラグを抜き止水栓を閉め、電気温水器の水抜きをしておいてください。
3. お客様に取扱説明書の使用方法、日常の点検・手入れなどについて十分ご説明ください。
4. 特に次のことについては十分にご説明ください。
 - (1) タンク内が空のとき、絶対に電源スイッチを「入」にしないこと。
 - (2) 吐水口を絶対にふさがないこと。
 - (3) 沸上がる途中では吐水口から湯が滴下しますが、これはタンク内の水が膨張するためで故障ではないこと。
 - (4) 凍結予防のための使用方法。(RE01型、RE01G型のみ)
 - (5) 冬期使用時、最初に冷たい水が出ることがありますが、これは配管内に残水があるためで故障ではないこと。